

特殊詐欺被害件数 令和8年1～3月（暫定値）
○被害件数 7件 前年同期比 -3件
○被害総額 約6,640万円 前年同期比 約4,000万円



狭山警察署管内において発生した特殊詐欺の実例

市役所を騙る者から「医療費に関する還付の書類を郵送したが、手続きされていません。今だったら、ATMで手続きが可能です。これから○▲銀行のATMまで行ってください。携帯電話で手続きを教えます。」と電話連絡があった。指示されたとおりATMに行き、教えられた番号に電話をかけながら、操作をしたところ、他人の口座に現金を振り込んでいた。



ワンポイントアドバイス＝

ATMでは還付金の手続きはできません。市役所や警察官を名乗っても、信用せず、人間市役所（2964-1111）や狭山警察署（2953-0110）へ確認しましょう。

市内で特殊詐欺犯人グループからの電話が頻繁にかかっています。ご注意ください。



市公式ホームページ「防犯」

消費者トラブル情報

個人情報を聞き出す不審な電話にご用心



- 【事例1】警察を名乗る電話に注意。「あなたに、犯罪者集団に関わっている疑いがある」と言われ、話をしているとクレジットカード情報を聞かれた。
- 【事例2】携帯電話会社を名乗る電話に注意。「スマホが不正に契約されている、警察に電話を転送する」と言われ、転送先で氏名や生年月日を伝えたが本当に警察か心配だ。
- 【事例3】+から始まる電話番号に注意。「2時間後に電話が止まる」とガイダンスが流れ、オペレーターに聞かれるまま個人情報を伝えてしまった。

実在企業や公的機関を名乗り、個人情報を聞き出す不審な電話に注意しましょう。

知らない番号からの電話に出ると、トラブルや未納料金の督促、犯罪等をほのめかされ、慌てたところで個人情報を聞き出されてしまいます。また、先頭に「+」がついている電話番号は国際電話ですが、心当たりのない電話は詐欺である可能性が高いようです。



市公式
ホームページ

【消費者へのアドバイス】

1. 知らない番号からの電話には出ない、折り返さないようにしましょう。
2. うっかり出てしまった場合、不審なら早めに話を打ち切りましょう。個人情報は絶対に伝えないようにしましょう。
3. 国際電話を使わない場合は、利用休止を検討しましょう。

困った時は
人間市消費生活センター
☎04-2963-5199

埼玉県「くらしの100番」より